

平成17年度

決 算 説 明 資 料

株式会社 東 北 銀 行

## 【 目 次 】

## 平成17年度決算の概況

1．損益状況	単・連	.....	1・2
2．業務純益	単	.....	3
3．利鞘	単	.....	3
4．有価証券関係損益	単	.....	3
5．自己資本比率	単・連	.....	4
6．R O E	単	.....	4
貸出金等の状況			
1．リスク管理債権の状況	単・連	.....	5
2．貸倒引当金の状況	単・連	.....	6
3．金融再生法開示債権	単	.....	6
4．金融再生法開示債権の保全状況	単	.....	6
5．業種別貸出状況等			
業種別貸出金	単	.....	8
消費者ローン残高	単	.....	8
中小企業等貸出比率	単	.....	8
6．預金、貸出金の状況	単	.....	8
7．有価証券の評価損益			
( 1 ) 有価証券の評価基準	単・連	.....	9
( 2 ) 評価損益	単・連	.....	9
平成17年度決算のハイライト	単・連	.....	10

## 平成17年度決算の概況

## 1. 損益状況

【単体】

(単位：百万円)

	18年3月期	17年3月期比	17年3月期
	業 務 粗 利 益 ( 除 く 国 債 等 債 券 損 益 )	12,490	249
国 内 業 務 粗 利 益 ( 除 く 国 債 等 債 券 損 益 )	12,326	133	12,193
資 金 利 益	12,406	278	12,128
役 務 取 引 等 利 益	12,188	108	12,080
そ の 他 業 務 利 益 ( うち 国 債 等 債 券 損 益 )	11,019	132	11,151
国 際 業 務 粗 利 益 ( 除 く 国 債 等 債 券 損 益 )	1,162	236	926
資 金 利 益	225	175	50
役 務 取 引 等 利 益	218	170	48
そ の 他 業 務 利 益 ( うち 国 債 等 債 券 損 益 )	83	30	113
国 際 業 務 粗 利 益 ( 除 く 国 債 等 債 券 損 益 )	138	25	113
資 金 利 益	110	26	84
役 務 取 引 等 利 益	1	1	2
そ の 他 業 務 利 益 ( うち 国 債 等 債 券 損 益 )	28	54	26
税	54	54	0
経 費 ( 除 く 臨 時 処 理 分 )	9,368	302	9,670
人 件 費	4,777	121	4,898
物 件 費	4,137	163	4,300
税 金	453	19	472
業 務 純 益 ( 一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 前 )	3,121	551	2,570
コ ア 業 務 純 益 ( - )	2,958	435	2,523
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	985	1,886	901
業 務 純 益	2,136	1,336	3,472
うち 国 債 等 債 券 損 益	163	116	47
臨 時 損 益	414	1,291	1,705
不 良 債 権 処 理 額	982	917	1,899
貸 出 金 償 却	981	79	902
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	107	1,102	995
延 滞 債 権 等 売 却 損	108	107	1
( 貸 倒 償 却 引 当 費 用 + )	1,968	970	998
株 式 等 関 係 損 益	519	479	40
株 式 等 売 却 益	531	448	83
株 式 等 売 却 損	0	9	9
株 式 等 償 却	11	22	33
そ の 他 臨 時 損 益	48	103	151
経 常 利 益	1,721	45	1,766
特 別 損 益	111	235	124
うち 動 産 不 動 産 処 分 損 益	3	29	32
動 産 不 動 産 処 分 益	-	-	-
動 産 不 動 産 処 分 損	3	29	32
税 引 前 当 期 純 利 益	1,833	192	1,641
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	627	50	677
法 人 税 等 調 整 額	291	238	53
当 期 純 利 益	914	4	910

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 【連結】

&lt; 連結損益計算書ベース &gt;

(単位：百万円)

	18年3月期		17年3月期
		17年3月期比	
連結粗利益	13,407	317	13,090
資金利益	11,234	90	11,324
役務取引等利益	1,597	215	1,382
その他業務利益	575	192	383
営業経費	9,781	241	10,022
貸倒償却引当費用	2,019	575	1,444
貸出金償却	1,011	75	936
個別貸倒引当金繰入額	0	1,109	1,109
一般貸倒引当金繰入額	1,007	1,608	601
株式等関係損益	519	479	40
その他	13	171	158
経常利益	2,112	290	1,822
特別利益	137	78	59
特別損失	24	163	187
税金等調整前当期純利益	2,225	531	1,694
法人税、住民税及び事業税	783	23	806
法人税等調整額	298	328	30
少数株主利益	206	172	34
当期純利益	936	53	883

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用)  
+ (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(単位：百万円)

連結業務純益	2,617	1,051	3,668
--------	-------	-------	-------

(注) 連結業務純益 = 連結業務粗利益 (除く金銭の信託運用見合費用) - 営業経費 (除く臨時処理分)  
- 一般貸倒引当金繰入額

(連結対象会社数)

(単位：社)

連結子会社数	5	0	5
持分法適用会社数	-	-	-

## 2. 業務純益 【単体】

(単位：百万円)

	18年3月期		17年3月期
		17年3月期比	
(1) 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,121	551	2,570
職員一人当り(千円)	5,707	1,165	4,542
(2) 業務純益	2,136	1,336	3,472
職員一人当り(千円)	3,905	2,230	6,135

(注) 職員一人当たり計数は、期中平均人員により算出しております。

## 3. 利 鞘 【単体】

全 体

(単位：%)

	18年3月期		17年3月期
		17年3月期比	
資金運用利回 (A)	2.02	0.01	2.03
貸出金利回 (C)	2.38	0.04	2.42
有価証券利回	0.95	0.10	0.85
資金調達原価 (B)	1.70	0.05	1.75
預金債券等原価 (D)	1.67	0.07	1.74
預金等利回	0.04	0.00	0.04
経費率	1.63	0.07	1.70
預貸金利鞘 (C) - (D)	0.71	0.03	0.68
総資金利鞘 (A) - (B)	0.32	0.04	0.28

国内部門

(単位：%)

	18年3月期		17年3月期
		17年3月期比	
資金運用利回 (A)	1.97	0.03	2.00
貸出金利回	2.37	0.05	2.42
有価証券利回	0.92	0.10	0.82
資金調達原価 (B)	1.66	0.07	1.73
預金等利回	0.04	0.00	0.04
総資金利鞘 (A) - (B)	0.31	0.04	0.27

## 4. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	18年3月期		17年3月期
		17年3月期比	
国債等債券損益(5勘定戻)	163	116	47
売却益	282	171	111
償還益	-	-	-
売却損	70	9	61
償還損	48	46	2
償却	-	-	-
株式等損益(3勘定戻)	519	479	40
売却益	531	448	83
売却損	0	9	9
償却	11	22	33

## 5. 自己資本比率（国内基準）

## 【単体】

（単位：百万円）

	18年3月末	17年9月末比		17年9月末	17年3月末
	[速報値]	17年9月末比	17年3月末比		
(1) 自己資本比率	8.12 %	0.21 %	0.56 %	8.33 %	7.56 %
(2) 基本的項目	18,463	158	1,605	18,621	16,858
(3) 補完的項目	5,866	55	985	5,811	4,881
(イ) うち自己資本に計上された 土地の再評価差額	1,340	0	0	1,340	1,340
(ロ) うち劣後ローン・劣後社債残高	2,700	0	0	2,700	2,700
(4) 控除項目	50	0	0	50	50
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	24,279	553	2,589	24,832	21,690
(6) リスクアセット	298,965	6,273	12,157	292,692	286,808

## 【連結】

（単位：百万円）

	18年3月末	17年9月末比		17年9月末	17年3月末
	[速報値]	17年9月末比	17年3月末比		
(1) 自己資本比率	8.78 %	0.22 %	0.53 %	9.00 %	8.25 %
(2) 基本的項目	20,640	51	1,820	20,691	18,820
(3) 補完的項目	5,927	47	687	5,880	5,240
(イ) うち自己資本に計上された 土地の再評価差額	1,340	0	0	1,340	1,340
(ロ) うち劣後ローン・劣後社債残高	2,700	0	0	2,700	2,700
(4) 控除項目	50	0	0	50	50
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	26,517	5	2,507	26,522	24,010
(6) リスクアセット	301,973	7,503	11,209	294,470	290,764

## 6. ROE【単体】

（単位：%）

	18年3月期	17年3月期比	
		17年3月期比	17年3月期
業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	15.56	2.14	13.42
業務純益ベース	10.65	7.48	18.13
当期純利益ベース	4.56	0.19	4.75

## 貸出金等の状況

## 1. リスク管理債権の状況

## 【単体】

(単位：百万円)

		18年3月末		17年9月末	17年3月末	
			17年9月末比			17年3月末比
リスク管理債権額	破綻先債権額	1,775	206	283	1,569	2,058
	延滞債権額	14,479	2,512	1,909	16,991	16,388
	3カ月以上延滞債権額	295	59	99	354	196
	貸出条件緩和債権額	8,629	2,401	1,302	6,228	7,327
	合計	25,179	35	791	25,144	25,970
貸出金残高(未残)		444,991	1,375	1,189	446,366	446,180

(単位：%)

貸出金残高比	破綻先債権額	0.39	0.04	0.07	0.35	0.46
	延滞債権額	3.25	0.55	0.42	3.80	3.67
	3カ月以上延滞債権額	0.06	0.01	0.02	0.07	0.04
	貸出条件緩和債権額	1.93	0.54	0.29	1.39	1.64
	合計	5.65	0.02	0.17	5.63	5.82

## 【連結】

(単位：百万円)

		18年3月末		17年9月末	17年3月末	
			17年9月末比			17年3月末比
リスク管理債権額	破綻先債権額	1,856	147	365	1,709	2,221
	延滞債権額	14,938	2,471	1,821	17,409	16,759
	3カ月以上延滞債権額	320	53	117	373	203
	貸出条件緩和債権額	8,629	2,401	1,302	6,228	7,327
	合計	25,745	25	767	25,720	26,512
貸出金残高(未残)		440,860	258	1,851	441,118	442,711

(単位：%)

貸出金残高比	破綻先債権額	0.42	0.04	0.08	0.38	0.50
	延滞債権額	3.38	0.56	0.40	3.94	3.78
	3カ月以上延滞債権額	0.07	0.01	0.03	0.08	0.04
	貸出条件緩和債権額	1.95	0.54	0.30	1.41	1.65
	合計	5.83	0.00	0.15	5.83	5.98

## 2. 貸倒引当金の状況

## 【単体】

(単位：百万円)

	18年3月末		17年9月末	17年3月末	
		17年9月末比			17年3月末比
貸倒引当金	4,569	288	159	4,857	4,728
一般貸倒引当金	1,826	56	985	1,770	841
個別貸倒引当金	2,742	344	1,144	3,086	3,886
特定海外債権引当勘定	-	-	-	-	-

## 【連結】

(単位：百万円)

	18年3月末		17年9月末	17年3月末	
		17年9月末比			17年3月末比
貸倒引当金	5,282	344	212	5,626	5,494
一般貸倒引当金	2,160	54	961	2,106	1,199
個別貸倒引当金	3,122	397	1,172	3,519	4,294
特定海外債権引当勘定	-	-	-	-	-

## 3. 金融再生法開示債権

## 【単体】

(単位：百万円)

	18年3月末		17年9月末	17年3月末	
		17年9月末比			17年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,213	180	681	8,393	7,532
危険債権	8,123	2,135	2,881	10,258	11,004
要管理債権	8,925	2,342	1,401	6,583	7,524
小計(A)	25,261	26	800	25,235	26,061
正常債権	430,682	1,714	1,676	432,396	432,358
合計(B)	455,944	1,688	2,475	457,632	458,419

(単位：%)

開示債権比率(A)/(B)	5.54	0.03	0.14	5.51	5.68
---------------	------	------	------	------	------

## 4. 金融再生法開示債権の保全状況(18年3月末)

## 【単体】

(単位：百万円)

	貸出金等の残高 (A)	保全額 (B)		保全率 (B)/(A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,213	8,213	1,314	100.00%
危険債権	8,123	7,645	1,415	94.11%
要管理債権	8,925	7,376	1,207	82.64%
小計	25,261	23,234	3,937	91.97%
正常債権	430,682			
合計	455,944			

(参考) 自己査定分類債権、金融再生法開示債権およびリスク管理債権の関係

【単体】

(単位：百万円)

自己査定分類債権 (対象：総与信)					金融再生法開示債権 (対象：与信関連科目、 ただし要管理債権は 貸出金のみ)	リスク管理債権 (対象：貸出金)
分類債権 債務者区分	非分類	分類	分類	分類		
破綻先 1,821	491	1,329	- (70)	- (9)	破産更生債権及び これらに準ずる債権 8,213 ( 保全額 8,213 ) ( 保全率 100% )	破綻先債権 1,775
実質破綻先 6,391	1,929	4,462	- (1,190)	- (45)		危険債権 8,123 ( 保全額 7,645 ) ( 保全率 94.11% )
破綻懸念先 8,123	4,507	3,137	478 (1,415)	引当率 74.737% ( 貸倒実績率 3年累計 )	要管理債権 8,925 ( 保全額 7,376 ) ( 保全率 82.64% )	
要 注 意 先	要管理先 13,246	2,486	10,759	引当率 28.173% ( 貸倒実績率 3年累計 )		小計 25,261 ( 保全額 23,234 ) ( 保全率 91.97% )
	要管理先 以外の 要注意先 53,576	28,268	25,308	引当率 0.497% ( 貸倒実績率 1年累計 )	正常債権 430,682	
	正常先 372,784	372,784	引当率 0.056% ( 貸倒実績率 1年累計 )			
合計 455,944	410,468	44,996	478 (2,675)	- (54)	合計 455,944	

(注) 1. 自己査定分類債権における( )内は、分類額に対する引当金額であります。

2. 破綻懸念先の引当率は、分類額に対する引当率であります。

3. 要管理先の引当率は、非保全額に対する引当率であります。

4. 要管理先以外の要注意先、正常先の引当率は、債権残高全体に対する引当率であります。

## 5. 業種別貸出状況等

## 業種別貸出金【単体】

(単位：百万円)

	18年3月末		17年9月末	17年3月末	
		17年9月末比			17年3月末比
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	444,991	1,375	1,189	446,366	446,180
製造業	31,159	975	2,596	30,184	28,563
農業	1,829	201	439	2,030	2,268
林業	179	49	51	228	230
漁業	627	39	269	666	896
鉱業	514	55	93	569	607
建設業	48,689	1,094	736	47,595	49,425
電気・ガス・熱供給・水道業	4,438	997	1,486	3,441	2,952
情報通信業	2,329	97	516	2,426	2,845
運輸業	8,836	1,139	1,213	7,697	7,623
卸売・小売業	53,866	305	1,384	54,171	55,250
金融・保険業	22,064	4,814	5,663	26,878	27,727
不動産業	47,916	282	4,750	47,634	43,166
各種サービス業	66,699	414	976	67,113	65,723
地方公共団体	31,608	3,258	770	28,350	32,378
その他	124,236	3,148	2,291	127,384	126,527

## 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	18年3月末		17年9月末	17年3月末	
		17年9月末比			17年3月末比
消費者ローン残高	103,324	1,833	374	105,157	102,950
住宅ローン残高	93,568	1,480	790	95,048	92,778
その他ローン残高	9,756	353	416	10,109	10,172

## 中小企業等貸出比率【単体】

(単位：%)

	18年3月末		17年9月末	17年3月末	
		17年9月末比			17年3月末比
中小企業等貸出比率	84.61	3.76	3.54	88.37	88.15

## 6. 預金、貸出金の状況【単体】

(単位：百万円)

	18年3月末		17年9月末	17年3月末	
		17年9月末比			17年3月末比
預金(末残)	580,555	4,154	4,556	584,709	575,999
(平残)	572,754	3,030	5,257	569,724	567,497
貸出金(末残)	444,991	1,375	1,189	446,366	446,180
(平残)	436,912	4,651	1	432,261	436,913

## 7. 有価証券の評価損益

## (1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法（評価差額を全部資本直入）
子会社株式及び関連会社株式	原価法

## (2) 評価損益

(単位：百万円)

【単体】	平成18年3月末				平成17年3月末		
	評価損益	前期比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	282	322	1	283	40	75	35
その他有価証券	1,126	2,565	1,408	2,535	1,439	1,573	133
株式	1,309	747	1,313	4	562	578	15
債券	2,396	3,268	30	2,426	872	916	44
その他	39	43	64	104	4	78	73
合計	1,408	2,888	1,410	2,819	1,480	1,649	168
株式	1,309	747	1,313	4	562	578	15
債券	2,504	3,432	30	2,534	928	972	44
その他	214	203	66	280	11	97	108

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

2. 「その他有価証券」の評価については、期末日の時価に基づいております。

3. 平成18年3月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、593百万円であります。

(単位：百万円)

【連結】	平成18年3月末				平成17年3月末		
	評価損益	前期比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	282	322	1	283	40	75	35
その他有価証券	1,125	2,565	1,410	2,535	1,440	1,573	133
株式	1,310	747	1,315	4	563	579	15
債券	2,396	3,268	30	2,426	872	916	44
その他	39	43	64	104	4	78	73
合計	1,407	2,887	1,411	2,819	1,480	1,649	168
株式	1,310	747	1,315	4	563	579	15
債券	2,504	3,432	30	2,534	928	972	44
その他	214	203	66	280	11	97	108

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、連結貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

2. 「その他有価証券」の評価については、期末日の時価に基づいております。

3. 平成18年3月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、593百万円であります。

## 平成17年度決算のハイライト

経常収益は、投資信託等の預り資産の増加による手数料収入及び有価証券の売却益等により前期比8億28百万円の増収となりました。

コア業務純益は、手数料収入の増加及び経費の削減に努めました結果、前期比4億35百万円増の29億58百万円となりました。

経常利益は、企業再生支援及び不良性資産のオフバランス化等により前期比45百万円減の17億21百万円となりました。

以上により当期純利益は、過去最高益の9億14百万円となりました。

## 1. 損益状況

【単体】

(単位:百万円)

	平成18年3月期		平成17年3月期
		平成17年3月期比	
経常収益	14,685	828	13,857
業務粗利益	12,490	249	12,241
うち資金利益	11,129	107	11,236
うち役務取引等利益	1,163	235	928
経費	9,368	302	9,670
うち人件費	4,777	121	4,898
うち物件費	4,137	163	4,300
コア業務純益	2,958	435	2,523
一般貸倒引当金繰入額	985	1,886	901
業務純益	2,136	1,336	3,472
うち国債等債券損益	163	116	47
臨時損益	414	1,291	1,705
うち不良債権処理額	982	917	1,899
うち株式等関係損益	519	479	40
経常利益	1,721	45	1,766
特別損益	111	235	124
税引前当期純利益	1,833	192	1,641
法人税、住民税及び事業税	627	50	677
法人税等調整額	291	238	53
当期純利益	914	4	910

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務純益} + \text{一般貸倒引当金繰入額} - \text{国債等債券損益(5勘定戻)}$$

## 2. 損益予想

当行では、平成18年4月から新中期経営計画“新・前・創”がスタートいたしました。「地域のために、お客様のために、株主のために」をテーマに掲げ、前中期経営計画の基本的な考え方を継承しつつ、経営健全性の維持、収益性の改善、継続的な成長を意識した取組みを展開してまいります。

【単体】

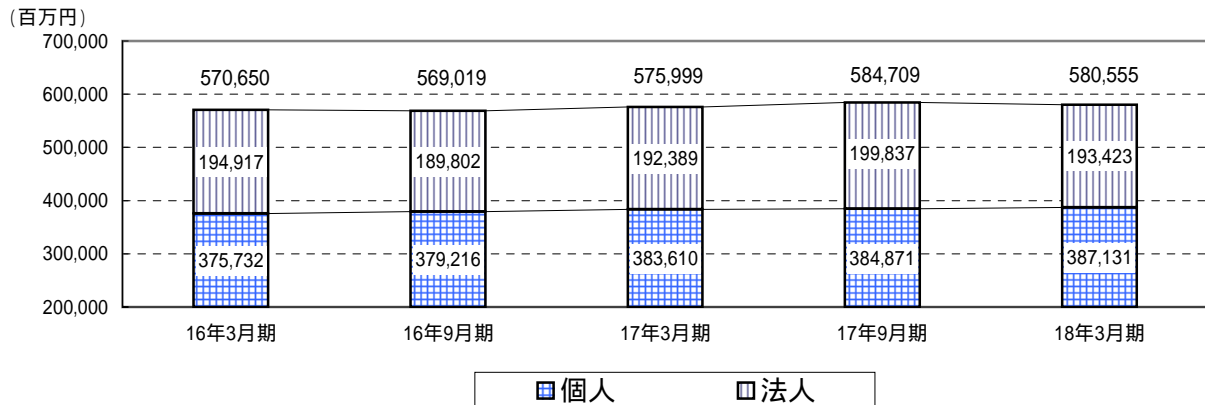
	平成18年3月期 業績予想	平成18年3月期 実績	平成19年3月期 業績予想
経常収益	14,000	14,685	14,400
経常利益	1,700	1,721	1,650
当期純利益	950	914	950

### 3. 主要勘定の状況【単体】

#### (1) 預金の状況

預金は前期比45億56百万円増加し5,805億55百万円となりました。法人預金は前期比10億34百万円の増加、個人預金は同35億21百万円の増加となりました。

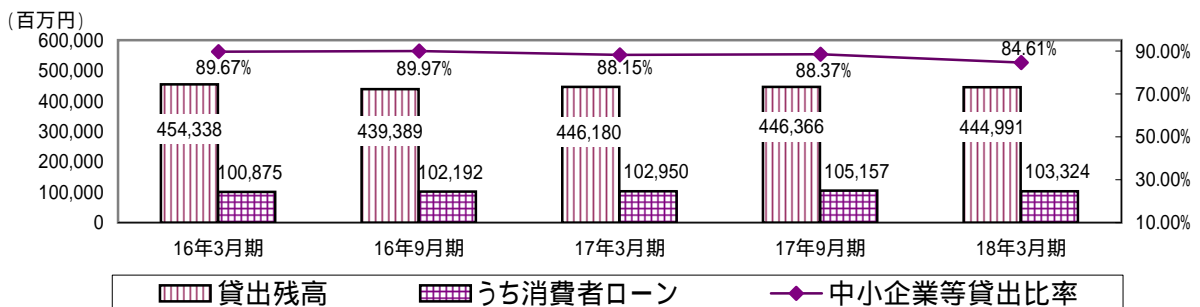
【預金残高の推移】



#### (2) 貸出金の状況

貸出金残高全体では、企業再生支援及び不良性資産のオフバランス化を進めた結果、前期比11億89百万円減少し4,449億91百万円となりました。消費者ローン残高は住宅ローンが引き続き堅調に推移したことから同3億74百万円増加し1,033億24百万円となりました。なお、中小企業等に地方公共団体等を含めた貸出比率は92.88%となっており、地域への資金供給に努めております。

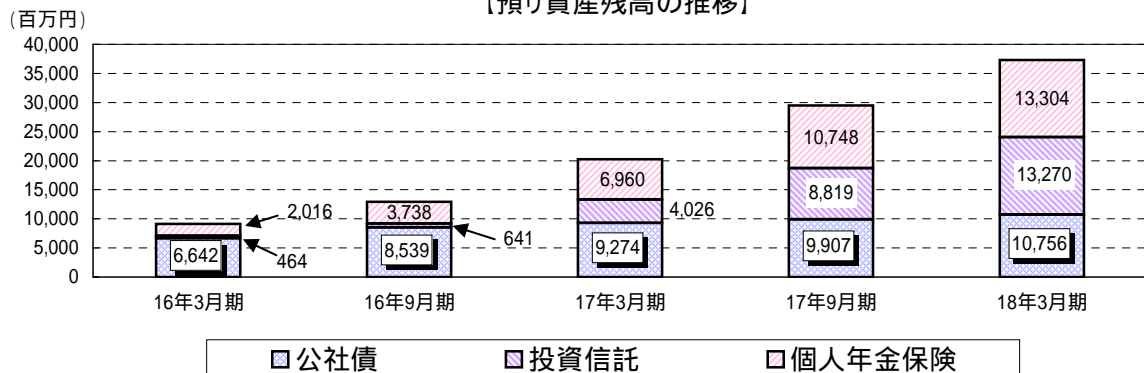
【貸出金残高の推移】



#### (3) 預り資産残高

個人年金保険や投資信託等によりお客様の幅広い資産運用ニーズにお応えしました結果、投資信託は前期比92億44百万円増加し132億70百万円、個人年金保険は同63億44百万円増加し133億4百万円となりました。

【預り資産残高の推移】



(注)個人年金保険は販売額の累計です。

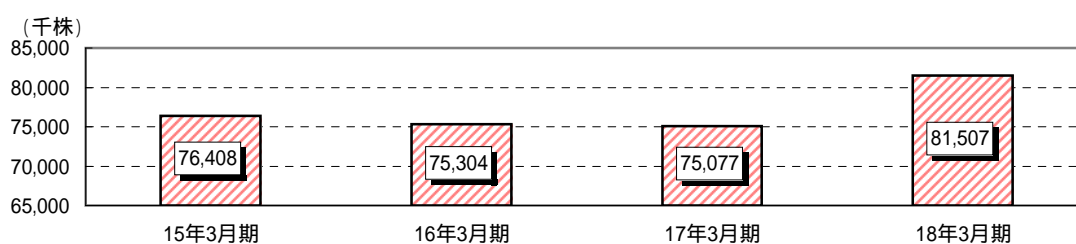
## 4. 資本の状況【単体】

当行は、今後の積極的な業務展開に備え、自己資本の充実を図るための施策として、2度にわたり総額45億円の無担保転換社債型新株予約権付社債を発行しました。第1回については15億円全額の株式への転換が完了いたしました。第2回については、発行総額30億円のうち本資料公表日現在において2億円の転換が完了しております。これにより、当行の資本に関する状況は以下のとおりとなっております。

## (1) 発行済株式数の状況

17億円の転換請求に対し、50百万円については自己保有株式を交付し、16億50百万円については新株式を発行しております。これにより発行済株式数（自己株式控除後）は前期比643万株増加いたしました。

【期末発行済株式数】

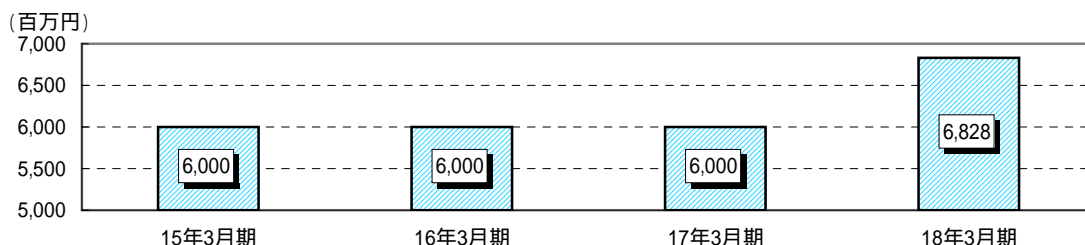


(注) 期末発行済株式数は自己株式控除後であります。

## (2) 資本金の状況

新株式の発行により、8億28百万円を資本金に組入れました。これにより、当期末の資本金は68億28百万円となりました。

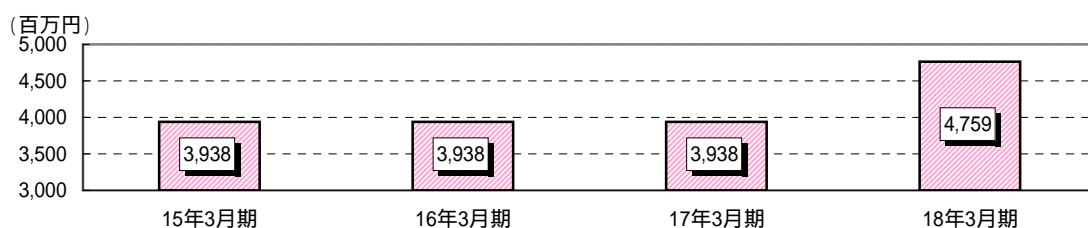
【資本金の推移】



## (3) 資本準備金の状況

新株式の発行総額16億50百万円から資本金組入額を控除した8億21百万円が増加し、資本準備金は当期末において47億59百万円となりました。

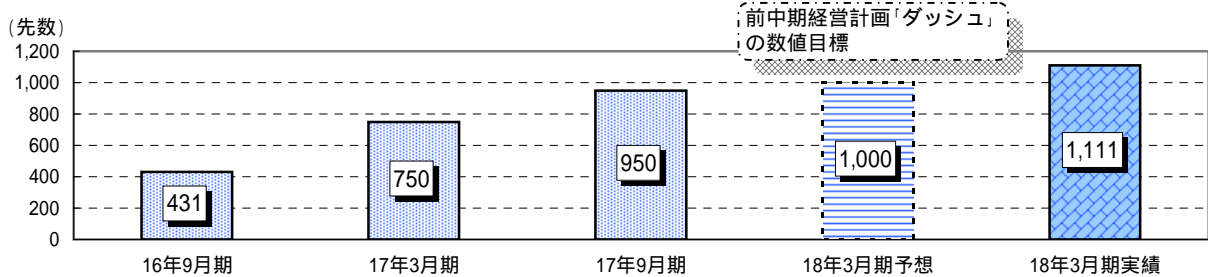
【資本準備金の推移】



5. 前中期経営計画の成果等【単体】

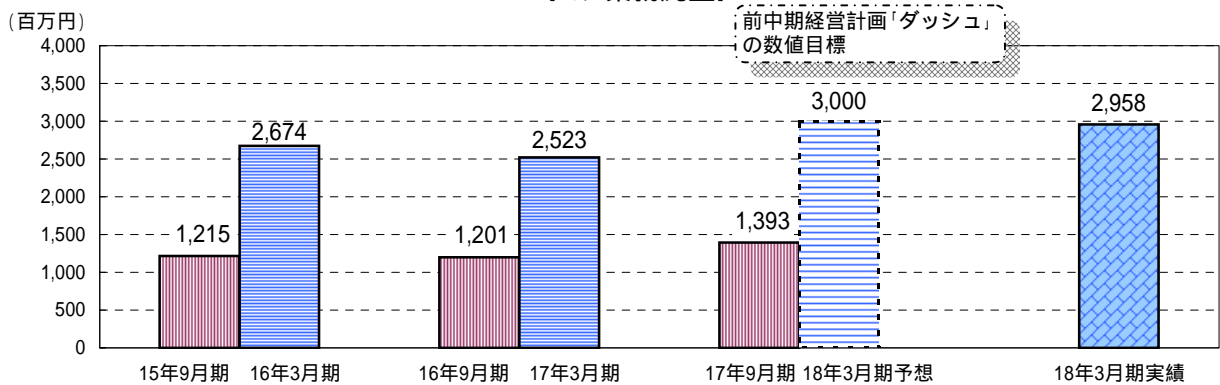
前中期経営計画「ダッシュ」では、地域経済の再生・活性化のためには個人事業主、中小企業等の支援が重要であると捉え、2年間で新規法人等貸出先数1,000先の純増を目標に取り組んでまいりました。地域経済はまだ厳しく、好転の兆しがみえない中ですが、営業店の地道な対面外交により当期末現在では1,111先の実績となりました。

【法人貸出先数(純増)】



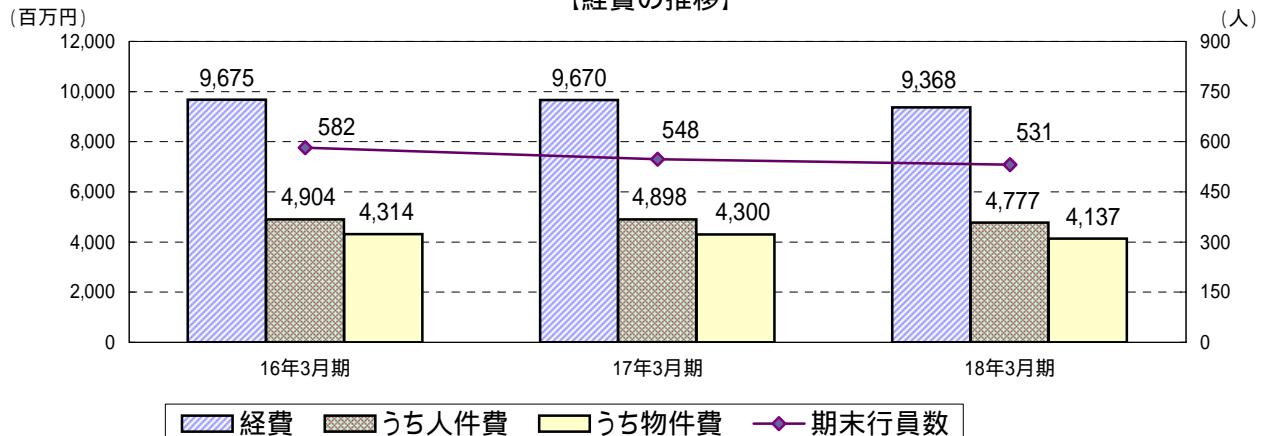
銀行本来の業務による実質的な収益力を表す重要な指標の一つであるコア業務純益は、当期末で29億58百万円となりました。前中期経営計画「ダッシュ」の最終年度の目標でありました30億円にはわずかに及ばなかったものの、達成率は98.60%となっており、概ね達成できたものと捉えております。

【コア業務純益】



経費については、全体的かつ継続的な経費節減の結果、人件費及び物件費ともに前期比減少しております。今後につきましても引き続き節減に努めてまいります。

【経費の推移】

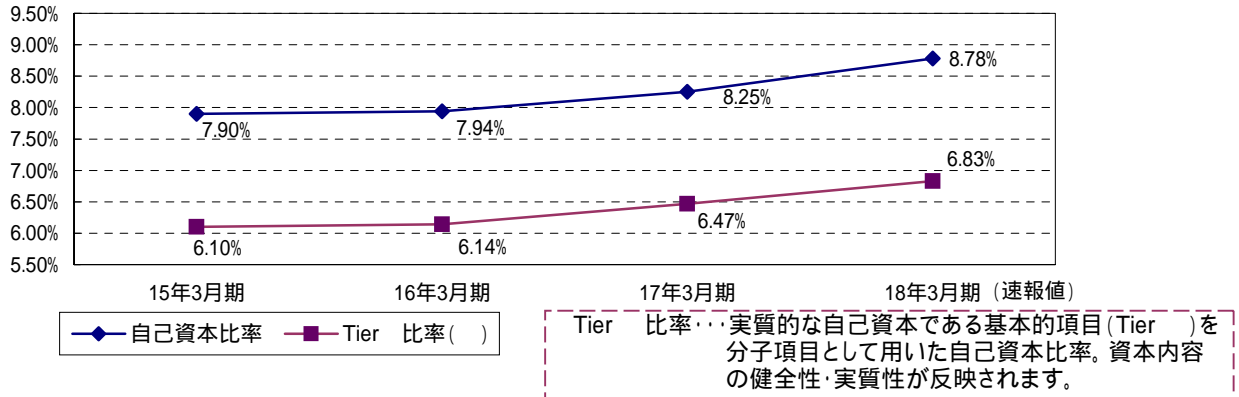


(注) 期末行員数は就業人員数です。

## 6. 自己資本比率の状況【連結】

連結自己資本比率(国内基準)は前連結会計年度末比0.53ポイント上昇し8.78%となりました。また、Tier 比率は0.36ポイント上昇し6.83%となりました。

【連結自己資本比率の推移】

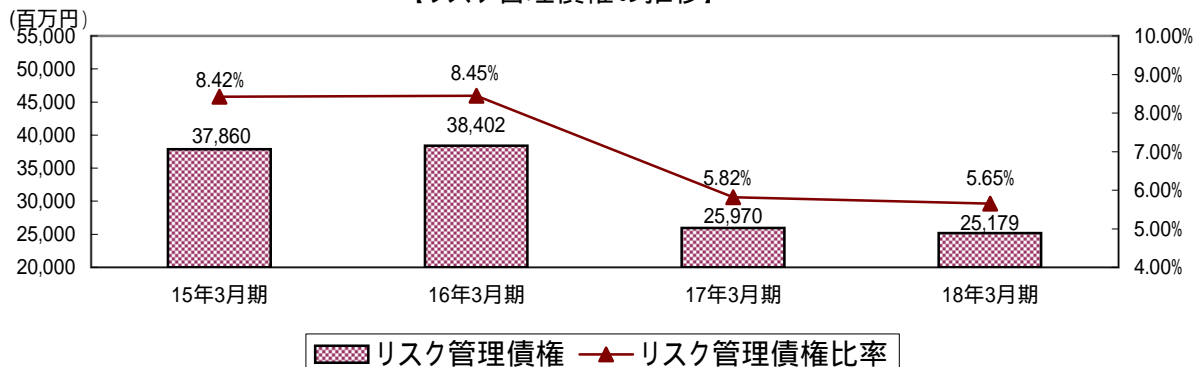


## 7. 不良債権の状況【単体】

### (1) リスク管理債権

リスク管理債権については、不良債権のオフバランス化や企業再建支援等への継続的な取り組みにより、前期比7億91百万円減少し251億79百万円となりました。なお、リスク管理債権比率は同0.17ポイント低下し5.65%となりました。

【リスク管理債権の推移】



### (2) 金融再生法開示債権

当期末の金融再生法開示債権は、前期比8億円減少し252億61百万円となりました。なお、総与信額に占める開示債権比率は同0.14ポイント低下し5.54%となりました。

【金融再生法開示債権の推移】

